

家畜衛生情報

6 1 1 号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所 2020. 4. 10

☆令和2年度新スタッフ…………… 1	☆畜産業者の新型コロナウイルス感染症の予防対策…………… 4
☆令和2年度 富山県畜産振興推進方針 …… 2	☆県畜産関係職員人事異動…………… 5
☆令和2年度 畜産関係主要事業の概要 …… 3	☆脂肪酸組成に関するゲノミック育種価… 6
☆ASF(アフリカ豚熱)のワクチン開発の情勢について …… 4	☆防疫情報…………… 6

令和2年度新スタッフ

新年度を迎え、新しい体制がスタートしました。今年度も家畜伝染病の防疫、家畜の生産性向上、畜産物の安全・安心確保、畜産環境保全等に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

東部家畜保健衛生所



西部家畜保健衛生所



令和2年度 富山県畜産振興推進方針

去る2月17日に開催された令和元年度富山県畜産振興推進協議会（会長：農林水産部長、構成員：生産者団体、全農等関係機関）において、令和2年度の富山県畜産振興推進方針を策定しました。

今後、この方針に基づき、関係機関・団体と協力し、目標達成のために各種施策を総合的に実施し、畜産経営の向上や安定化を推進します。

1 基本方針

- 生産基盤の整備や生産技術の高位安定化により、畜産経営の維持拡大と畜産物の安定的な供給及び県産畜産物の消費拡大と銘柄化を推進する。
- 畜産農家への定期的な衛生指導や防疫対策の徹底などにより、高病原性鳥インフルエンザ、CSF（豚熱）及び口蹄疫等家畜伝染病の発生予防とまん延防止に努める。
- 地域と調和した畜産経営を進めるとともに、畜産が持つ多面的機能を活用し、耕作放棄地等の有効利用と景観保全など地域活性化の取組を進める。

2 主要目標指標

区 分		令和2年度目標	(参考) 令和元年度見込
畜産物の生産量 (t)	生乳	11,025	10,867
	牛肉	670	578
	豚肉	3,480	4,120
	鶏卵	19,000	16,826
飼料自給率 (%) (大家畜のみ飼料作物面積等から推定)		29.0	27.0
飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通)	飼料用米	820	728
	稲WCS	380	360
	計	1,200	1,088
水田放牧等の面積 (ha)		46.0	29.4

3 重点推進事項

【生産基盤の整備】

- (1) 国内の他の産地や輸入畜産物との競争に打ち勝つため、国の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）等による施設・機械の整備支援や公共牧場の活用及び後継牛確保支援事業等により生産基盤の維持・拡大を推進。
- (2) 離農農家等の円滑な継承や新たな担い手等の確保対策を推進。
- (3) 優良種畜（受精卵、高能力種豚）や性別判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進。

【経営の安定化と食の安全確保や消費者への情報発信】

- (1) 畜産物の価格安定制度等の活用により経営安定を図り、安定供給と生産を推進。
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止を図るため、CSF ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の確保など体制整備を推進。
- (3) 富山食肉総合センターでの HACCP による衛生管理を実施するとともに、エコフィールドなどを活用した畜産物のブランド化や消費拡大の取組を推進。

【地域との調和と多面的機能の活用】

- (1) 飼料用米・稲WCSの生産・利用の推進、未利用資源の活用による飼料自給率向上を図るとともに、堆肥を活用した土づくりなど耕畜連携による循環型農業を推進。
- (2) 農場 HACCP や畜産 GAP の推進及び環境基準の遵守による地域との調和がとれた持続可能な畜産経営の推進。
- (3) 耕作放棄地等での放牧等や蜜源である花畑としての活用を推進。

（農業技術課畜産振興班 岡村主幹）

令和2年度 畜産関係主要事業の概要			当初予算額 (千円)
家畜改良増殖 対策事業	大家畜牛群改良推進事業	乳用牛及び肉用牛の牛群能力の向上	2,331
	⑧ 畜産共進会開催事業	県内で開催される共進会開催費や全日本ホル スタイン共進会等への支援	1,032
	優良肉豚生産システム化事業	優良な肉豚を生産するために必要な種豚の導 入等に対する支援	1,835
畜産経営向上 対策事業	畜産経営総合指導体制整備強化事業	畜産コンサルタント団による総合支援指導	3,990
	畜産担い手ナビゲート事業	高校生の畜産体験、企業参入支援と情報一元化	424
	畜産環境保全推進指導事業	畜産環境問題等の発生防止のための総合指導	419
	乳用後継牛育成支援事業	育成牛を確保・育成するための施設整備等への 支援	1,222
	養豚経営安定対策事業	国の「養豚経営安定制度」における生産者積立 金への助成	9,900
	⑧ 食肉衛生基盤強化事業	(株)富山食肉総合センターの施設整備、肉畜集 荷対策への支援	37,041
飼料生産総合 対策事業	飼料利活用高度化事業	飼料作物の優良品種の選定、飼料・土壌等の成 分分析	1,482
	牧場経営安定対策事業	公共牧場へ預託事業等の経費の一部助成、簡易 放牧支援等	5,273
	⑨ 「とやまのエコフィード」利用 畜産物ブランド化推進事業	酒粕をエコフィードとして活用した県産牛の 新たなブランド化を推進	3,900
とやま畜産基 盤強化事業	畜産施設継承円滑化事業	畜産農家の離農・遊休施設の継承を円滑に行う ための取組を支援	1,080
安心して美しい郷づくり事業		動物達とのふれあいに係る取組を推進	598
家畜伝染病予防事業		家畜伝染病予防法に基づく検査等	28,521
家畜伝染病防疫体制強化整備事業		消毒機器等の整備、初動防疫体制の強化、防疫 資材の備蓄、疾病迅速診断機器の整備	7,003
⑨ CSF ワクチン接種推進事業		CSF ワクチン接種の推進とモニタリング検査	22,381
⑨ CSF 緊急防疫対策事業		野生いのししの CSF 検査、病原体侵入の予防	9,571
⑨ CSF 風評被害防止対策事業		消費者への正しい知識の普及、啓蒙	1,061
畜産物安全性 確保総合対策 事業	飼料安全性確保強化指導事業	飼料の安全性確保と適正な使用・管理の指導	1,630
	動物医薬品取締指導	動物用医薬品の取締業務と適正使用の指導	518
	畜産物安全性確保対策事業	家畜衛生管理技術の向上のための指導・調査	7,727

※ 詳細については、農業技術課畜産振興班、農産食品課食品安全係、広域普及指導センター、家畜保健衛生所にお問い合わせ下さい。

(農業技術課畜産振興班 岡村主幹)

ASF(アフリカ豚熱)のワクチン開発の情勢について

2月25日に東京都港区の三田共用会議所で開催されたASF国際シンポジウムに出席しました。

シンポジウムでは開発が待望されているワクチンについて、イリノイ大学のDr.Daniel L Rockより講演がありました。Rock先生の講演によるとASFウイルス(ASFV)の9GLという遺伝子を除去したウイルス(Δ9GLウイルス)を実験豚に接種し、その豚を野外株で攻撃したところ、実験豚はすべて生き残り、また発熱もウイルス血症も起こさなかったということでした。従って、Δ9GLウイルスは弱毒生ワクチンとして非常に有望だと期待されます。

遺伝子操作された弱毒生ワクチンについてはアメリカでも別グループがI177Lという遺伝子を除去したウイルスを開発、報告していますし、中国からも7つの遺伝子を除去したウイルス株が弱毒生ワクチンとして有望だという報告があり、近い将来にはそのうちのいくつかは実用化されることに期待が持てる状況です。

ただし、弱毒生ワクチンの市販化ということになると、ウイルスの大量培養が必須であり、その方面については今回も目立った進展がある話は聞けませんでした。

また、ASFVは現在22の遺伝子型と8以上の血清型に分類できることが知られていますが、ワクチンによる免疫誘導は血清型に特異的で、接種したワクチンと異なるウイルスの感染には効果がないとのことでした。現在アフリカ以外で分離されたASFVは遺伝子型ではIとIIのみですが、ワクチン開発にあたっては今後注意が必要、とのことでした。

他にもサブユニットワクチンの話題や、ウガンダや韓国の発生状況、我が国の対応状況等の講演もあり、それぞれ興味深い内容でした。

スライドも講演も日本人による講演も含めてすべて英語で、同時通訳も“engineered LAV(遺伝子操作された弱毒生ウイルス)”や“stamping-out(予防的殺処分)”等の専門的な用語は訳さず英語のまま話すので、場面によっては同時通訳の話す言葉も半分以上英語で、ついていくのが大変でした。ですが内容は興味深く、近い将来のワクチンの実用化に十分期待が持てるものでした。

(西部家保防疫課 池上課長)



シンポジウム会場の様子

畜産業者の新型コロナウイルス感染症の予防対策

新型コロナウイルスの感染者の報告が増加しているなか、本県においても3月30日、初の感染者が確認されました。新型コロナウイルス感染症対策につきましては、現在、感染の流行を早期に終息するために極めて重要な時期とされていますので、畜産農家の皆様は徹底した対策をお願いします(「畜産事業者新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」(農林水産省)より抜粋)。(URL: https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_tik.pdf)

○従業員に感染予防策を要請します。

- ①体温の測定と記録、②発熱などの症状がある場合は、所属長への連絡と自宅待機
- ③37.5℃以上の熱が4日以上継続した場合等は、所属長に連絡の上、保健所に問い合わせ

○事業者の業態に応じて感染予防策を行って下さい。

※卸売市場や家畜市場のせり場など常時不特定多数の者が集合する場所では、できる限りマスクを着用し、着用しない場合は適切な距離を保って取引を行うことを徹底するなど

○従業員から診断結果等の報告を速やかに受ける体制を構築して下さい。

○手洗いなどの感染予防策を徹底して下さい。

- ①出勤時やトイレ使用後、作業場への入場時の手洗い、手指の消毒
- ②できる限りマスクを着用、咳エチケットの徹底
- ③通常の清掃に加え、水と洗剤を用いて人がよく触れるところを拭き取り清掃

(西部家保環境課 飯田課長)

県畜産関係職員人事異動

4月1日及び3月31日(退職)付けで、以下のとおり県の畜産関係職員が異動しました。(敬称略)

区分	氏名	新所属	旧所属
農林水産部	堀口 正	農林水産部長(昇任)	商工労働部次長 兼 首都圏本部
	齊木 志郎	農林水産部次長(昇任) 農林水産部参事(市場戦略推進担当)事務取扱	経営管理部参事、広報課長事務取扱 兼 首都圏本部
	佐藤 宏	農林水産部次長(昇任)	農林水産部参事
	野尻 直隆	農林水産部参事 兼 厚生部参事	農林水産部参事、農産食品課長事務取扱 兼 花総合センター所長
農林水産総合 技術センター畜 産研究所	新山 栄一	副主幹研究員	農業技術課広域普及指導センター 副主幹普及指導員
	宮本 剛志	主任研究員	東部家畜保健衛生所主任
	南部 愛	主任研究員	西部家畜保健衛生所主任
	竹元 正士	主任研究員(昇任)	農林水産総合技術センター研究員
農業技術課	大島 晃	農林水産部参事(昇任) 農業技術課長事務取扱	農業技術課長
	高平 寧子	副主幹(昇任)	農業技術課副係長
	岩本 智恵子	主任	農林水産総合技術センター主任研究員
	本多 里幸	主任(昇任)	農業技術課技師
	本多 麻衣	主事	新規採用
広域普及指導セ ンター(農業技術 課分室)	高橋 涉	所長	農産食品課主幹 課長補佐事務取扱
東部家畜保健 衛生所	坪川 正	所長(再任用)	東部家畜保健衛生所長(囑託)
	後藤 利隆	防疫課長	西部家畜保健衛生所防疫課長
	水木 亮史	係長	東部家畜保健衛生所主任
	相地 宏美	主任	富山中部高等学校主任
	竹内 俊彦	主任	農林水産総合技術センター主任研究員
	山口 香菜	獣医師	新規採用
西部家畜保健 衛生所	池上 良	防疫課長	東部家畜保健衛生所防疫課長
	稲畑 裕子	副主幹(昇任)	西部家畜保健衛生所係長
	野田 基子	係長	農業技術課主任
	小林(齋藤) 歩	獣医師	東部家畜保健衛生所獣医師
【転出】	今井 光雄	中央病院事務局長	理事、農林水産部次長、農林水産部参事(市 場戦略推進担当)事務取扱 兼 首都圏本部
	田尻 俊郎	農林水産総合技術センター食品研究所長	農業技術課広域普及指導センター所長
	酒井 雅美	総合県税事務所自動車税センター主任専門員	東部家畜保健衛生所主任専門員
【退職】	河村 幹治	退職	農林水産部長
	草野 浩一	退職	農林水産部次長 兼 厚生部参事
	砂川 スター亜莉沙	退職	東部家畜保健衛生所獣医師

脂肪酸組成に関するゲノミック育種価

近年、牛肉は脂肪交雑の視覚的評価だけでなく、食味に関しての関心も高まっています。牛肉に含まれる脂肪酸は、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸（一価・多価）から構成され、一価不飽和脂肪酸（MUFA：オレイン酸、ミリストレイン酸、パルミトレイン酸）が多い牛肉は融点が高い（低い温度で溶ける）ため、口当たりが良く食味が向上すると考えられています。

肉用牛の枝肉6形質（枝肉重量・ロース芯面積・バラの厚さ・皮下脂肪厚・歩留基準値・脂肪交雑）については、育種価やゲノミック評価を活用して着実に改良が進められていますが、生産現場では、脂肪酸組成についての関心が高く、その遺伝的推定に対する要望も高まっています。一般社団法人家畜改良事業団では、平成23年から肥育牛の脂肪酸組成を分析し、データの蓄積を行ったことで、脂肪酸組成に関するゲノミック評価が可能となりました。また、ゲノミック評価を活用することで、育種価が分かっていない若い牛でも評価することが出来ます。

今後、種雄牛の遺伝的能力の特徴の一つとして、新たに MUFA やオレイン酸の脂肪酸組成のゲノミック育種価（G 育種価）が公表されることから、高値ブランド化を目指す県や生産者が、「脂肪の質」についても関心を高めていくと考えられます。

[牛肉に含まれる主な脂肪酸]

7種類の脂肪酸の融点と構成割合

分類	脂肪酸名	融点 (°C)	割合 (%)	MUFA (%)
飽和脂肪酸	ミリスチン酸	54.4	2.9	
	パルミチン酸	62.9	25.7	
	ステアリン酸	69.6	7.3	
不飽和脂肪酸	リノール酸	-5.0	2.6	61.5
一価不飽和脂肪酸 (MUFA)	オレイン酸	13.4	52.9	
	ミリストレイン酸	-4.5	1.8	
	パルミトレイン酸	-0.1	6.8	

[脂肪酸組成の G 育種価表示例]

例：P 黒 1045 知恵久

一価不飽和脂肪酸 (MUFA)	オレイン酸
2.189	1.196

MUFA の G 育種価数値(例 知恵久：2.189 > 幸忠栄：0.771) が大きいほど、脂肪の融点が高くなるよう遺伝改良を進めることが出来る。

- ①表は7種類の脂肪酸を100%とした場合の各脂肪酸の平均値の割合
 ②MUFAは3種類の脂肪酸（オレイン酸、ミリストレイン酸、パルミトレイン酸）の合計
 ③各脂肪酸は融点異なる 出典：一般社団法人 家畜改良事業団

(西部家保環境課 田知主任)

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

CSF (豚熱) (法定伝染病)

(3月26日現在)

	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備考
58 例目	3月12日	沖縄県うるま市	豚肥育農場	440 頭	4/13以降移動制限解除予定

県内の主な家畜伝染性疾患の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
マレック病 (届出伝染病)	鶏	2月18日	1	1	
豚丹毒 (届出伝染病)	豚	3月16日	1	1	と畜場発見
牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	3月19日	1	1	
牛パストツレラ症と牛マイコプラズマ肺炎とヒストフィルス・ソムニ感染症	牛	3月23日	1	1	
牛ロタウイルス病	牛	3月24日	1	1	
牛尿路コリネバクテリア感染症	牛	3月30日	1	1	

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話 (076) 479-1106 F A X (076) 479-1140
 編集者 飯田 佳代 (富山県西部家畜保健衛生所)